

8月7日、鶴ヶ丘にある環境教育施設「エコーラボつるがしま」を見学しました。

### □パブリックミーティングで設計

この施設は、敷地と建物は養命酒製造株式会社さんの地域貢献事業として、主要な設備は市の予算で建てられました。今年の3月1日、養命酒工場跡地に開館したばかりです。

「エネルギーと地球環境問題、防災を考える」をコンセプトにしています。

昨年行われた「鶴ヶ島・未来との対話プロジェクト2013」で設計されました。東洋大学建築学科の協力による市民参加型のパブリックミーティングは、地域の方々と対話しながら進めたそうです。

### □リアルな鉄道模型

施設内には、エネルギー関連の図書、DVDやパネル等が置かれています。また、市内の関水金属株式会社さんの協力によりリアルに走る鉄道模型（Nゲージ）の展示、どれだけの電気が流れているか



わかる消費電力等表示。パネルがあります。

### □災害時の頼もしい設備

この施設は、災害時に地域住民の飲料水を確保する浄水機能や非常電源設備があります。さらに太陽光発電により発電し



リチウムイオン蓄電池

## エコーラボつるがしま 見学記



た電気を電気自動車（EV）に充電する設備があります。充電されたEVは避難所となる公民館などへの電気供給に利用します。

エコーラボつるがしまの太陽光パネルは42枚、年間発電量は10,700kWhです。一般家庭2軒分の年間使用電力量になります。42枚と少ないですが頼もしいです

ね。

NPO法人鶴ヶ島第二小学校区支え合い協議会が、日常の管理を委託されています。

木造平屋建てのお洒落な建物の中で、市の職員の方から施設の説明を聞いた後、建物の外に出て、ドラえもんミニカーを使った実験をしました。

隣接している鶴ヶ島太陽光発電所のメガソーラーの敷地は、約4万㎡、発電出力は1,990kW、年間電力予想発電量は約2,635,000kWh一般家庭400〜500世帯分の年間電力消費量に相当することに驚きました。



見学会当日は夏休み。親子の参加者には嬉しい実験でした。

## いんぷおめーしょん

●鶴ヶ島市と生活クラブ生協が、安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的として、2014年10月、「地域見守り活動に関する協定」を締結しました。

